# 資料館の歩みとこれから

## 3つの資料館の閉館

市内にある高島歴史民俗資料館・朽木資料館・マキノ資料館の3館は、各施設の老朽化などによる統廃合によって、3月31日㈰に閉館します。

高島歴史民俗資料館は、昭和56年に旧高島町鴨に開館し、鴨稲荷山古墳を始めとした市内の史跡や考古資料および大溝藩関係資料の展示保存等を行ってきました。高島市発足後は、3つの資料館の統括館として、専門知識を持つ学芸員を配置し、来館者への案内や市内の歴史情報の発信等を行ってきました。

朽木資料館は、昭和57年に旧朽木村野尻に開館し、木地師道具等の朽木地域関係資料および移築民家と民具を展示してきました。朽木陣屋跡に所在し、朽木の歴史学習・見学の拠点として利用されてきました。

マキノ資料館は、平成5年に旧マキノ町蛭口に開館し、マキノ地域の民俗・歴史資料を中心に展示を行うなど、人々の暮らしのようすが、再現された古民家のジオラマと共に学べる施設でした。

いずれの資料館も各地域の郷土学習で利用されるなど、長きにわたり高島市の歴史文化を紹介する施設としての役割を担ってきました。

## 中江藤樹記念館の改修

これまで3つの資料館が担ってきた役割は、これから改修工事が予定されている近江聖人中江藤樹記念館に引き継いでいく計画です。中江藤樹記念館は、中江藤樹に関連する資料の収集、保管を担うほか、中江藤樹やその研究を中心とした展示を行うなど、その教えの普及啓発に努めてきました。

中江藤樹記念館の外観

今回の改修で中江藤樹記念館には、これまで3つの資料館が担ってきた市内の歴史文化を紹介する機能が新たに加わります。改修工事では、展示スペースが増築されるほか、デジタルサイネージや映像コンテンツによる展示等が計画されるなど、高島市の歴史文化を展示紹介する中核施設としてのリニューアルを予定しています。

## リニューアル開館に向けて

中江藤樹記念館は、予定されている改修工事に伴い令和6年度中は休館する計画です。3つの資料館の閉館と併せ利用者の皆さんには、今回の統廃合によってご迷惑をお掛けすることとなります。リニューアル予定の新施設は、高島の歴史文化と共に改めて中江藤樹を知っていただくことができる施設であり、中江藤樹が生まれその教えが育まれた、高島の歴史文化や風土について学ぶことができる、展示施設として新たなスタートが期待されます。

問 文化財課 ☎（25）8559

## マキノ資料館・朽木資料館の特別開館

見学に際し、事前予約が必要であったマキノ資料館と朽木資料館について、次の日時に特別開館します。

見学いただける最後の機会です。高島歴史民俗資料館の見学と併せてご利用ください。

**特別開館**　3月28日㈭～30日㈯（予約不要）
**開館時間**　9時～16時30分

## 編集雑感

今月号の特集２はご覧になりましたか？

写真撮影のために２か所カフェにお邪魔しましたが、２か所とも、お店の雰囲気が良くて、ついつい写真を撮りすぎてしまいました。市内には、居心地が良くて映えるカフェが沢山あるようです。見つけたら「# たかＰ写真館」を付けて、インスタグラムに投稿して教えてくださいね♪（Y）

広報たかしま
令和６年３月号
No.290
発行▼高島市　編集▼政策部企画広報課
〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畑565番地
☎0740(25)8000㈹
https://www.city.takashima.lg.jp
t-info@city.takashima.lg.jp

R70 古紙パルプ配合率70%再生紙を使用。